

令和4年度 江戸川区立小岩第二中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び、協力し合う生徒の育成 ・規律を守り、責任を果たす生徒の育成 ・健康で思いやりのある生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像 	<p>期待感をもって登校し充実感をもって下校する学校。将来に対する夢や希望を育てる学校。社会人としての能力・態度を身につけることができる学校。</p>
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> やりとり帳やきめ細やかな生徒指導を通して、生徒理解を深め、落ち着いた生活環境を整えることができています。 ICTの活用などによる教材の工夫や授業のチャイムスタートを通して、授業に前向きに取り組む生徒が多くなる。 <課題> 支援が必要な生徒に対して、外部機関との連携やエンカレッジルームの活用など、さらに支援を広げる。 学校公開や学校評議員会及びPTAとの連携を通して、さらに家庭や地域と協力しての学校経営を進める。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	来年度に向けた改善策	
					取組	成果			評価
いさいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ノートに毎日取り組ませる。 ・受験講座を開講する。 ・一人一台端末の授業での活用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ノートの提出率90%以上とする。 ・受験講座を12回行う。 ・授業で100%の教員が一人一台端末を活用する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ノートの提出率は各学年ともに90%を達成することができた。 ・受験講座は12回実施することができた。14名の生徒が参加した。 ・100%の教員が授業や授業配信で一人一台端末を活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は定着しているようである。 ・一人一台端末の活用をさらに進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習についてはさらに学力向上につながるよう質を向上させたい。 ・一人一台端末については、生徒同士の対話や表現に結びつくような活用をしていく。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みに体育館を開放し、生徒が主体的に運動する機会を増やす。 ・体育の授業で補強運動を実施し、体力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補強運動を毎回の授業で行う。 ・体力テスト各種目の結果の数値がそれぞれ全国平均に対して90%を超えるようにする。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・補強運動は毎回の授業で行った。 ・体力テストの結果では90%を超えることができなかった種目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は新しい校庭が使えるようになるので、生徒の体力向上が進むことを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく使えるようになった校庭を活用して、体育の授業の充実や昼休みの運動を促進し体力の向上を図る。
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・新校舎における学校図書館の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめ本のカードを作成し、発表する。 ・調べ学習や新聞作成に図書を活用する。 ・学校図書館の昼休みの活用をさらに啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3時間以上を使って、全校生徒がタブレット等を活用して読書カードを作成し、発表を行う。 ・生徒の学校図書館の利用率が70%を超えるようにする。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・読書カードを作成し、文化発表会で展示した。 ・生徒の学校図書館の利用率は70%未満であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の活用が進み、生徒の読書活動が促進されるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や総合的な学習の時間で学校図書館の活用を進める。
	外国語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上とALTの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定の受験を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定の受験者数を前年度より増加させ、合格者を70%以上とする。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定で合格率が約70%であった。特に4級は80%を超えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験する生徒がさらに増えるとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上位の級の合格率を上げられるようにする。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副読交流、交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週特別支援教育委員会を開き、情報の共有や今後の方針の検討を行う。 ・エンカレッジルームを有効に活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月までに個々の支援シート(フェイスシート)を作成し、全教員で共通理解を図る ・エンカレッジルームの活用により、自宅にとどまる生徒ゼロを目指す。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援シートを作成し、全教員で共通理解を図り、生徒理解を深めることができた。 ・ステップサポーターによるエンカレッジルームの運用を始めたことで、7名の生徒が登校できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンカレッジルームの活用がさらに進むことで、登校できなかった生徒が少しずつでも登校する機会が増えるように。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンカレッジルームの活用をさらに拡充する。登校できる生徒の数を増やし、教室への復帰を支援する。
	子供たちの健全育成に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの健全育成に向けた取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止総合対策に基づき、校内のいじめ防止を図る。 ・ソーシャル・スクール・ワーカーや児童相談所との連携を図る。 ・生活指導連絡協議会を通して、他校と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止総合対策に基づいた対応を行い、いじめの未解決をゼロにする。 ・SSWや児童相談所と連携し、月に1回以上の情報交換を行い課題の解決にあたる。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未解決をゼロにすることができた。 ・SSWとは月に1度の情報交換を行った。児童相談所とも月1回以上の連携を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWなど外部の機関とも連携しながら、今後もいじめのない学校を続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きいじめを許さない指導を徹底し、いじめの未解決ゼロを続ける。 ・SSWの活用をさらに進め、学校や家庭の抱える課題の解決を増やす。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、集計・回答しやすい形式を整え、結果を教育活動に活かしやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Formsを活用したアンケートを実施し、改善に向けた検討を年に2回以上行う。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Formsを活用したアンケートを2回実施し、保護者の意見をもとに教育活動の改善を進める事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが保護者にも答えやすいようになっているので、保護者の声が学校の改善に活かされるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もアンケートを通して保護者の意見を伺う機会をつくり、家庭と連携して課題の解決にあたるようにする。
	保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・連絡メールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページから発信する情報を増やす。 ・連絡メールの活用をさらに進め、保護者との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の出来事について情報を発信し、毎日更新する。 ・家庭の加入率を100%にし、連絡メールを部活動でも活用する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の出来事についてなど、ホームページの内容を毎日更新できた。 ・事情のある場合を除き、すべての家庭に連絡メールを発信でき、部活動でも有効に活用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページが非常に充実したものになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや連絡メールを使っている情報提供をさらに広げる。
	小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の小中連携の日を活用し、教員や児童・生徒の連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が本校を訪問する機会や本校教員が小学校で訪問授業をする機会をそれぞれ1回以上つくる。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の小中連携を行い、教員、児童・生徒の相互理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中の連携を深め、生徒がよりスムーズに中学校に入学できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でできなかった小中の交流を実施し、教員及び児童・生徒の共通理解を広げる。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を設け、長時間労働の是正に取り組む。 ・職員会議のペーパーレス化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月定時退勤日を1日以上設定し、原則全員が定時の退勤とする。 ・職員会議の資料を100%ペーパーレスとする。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を進めたが、全員の定時退勤は課題として残った。 ・職員会議の資料についてほぼ100%のペーパーレス化を実現できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革は是非進めていただきたい。 ・ペーパーレス化は環境にもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を進め、教員の心身の健康を増進する。 ・家庭への連絡についても必要に応じてペーパーレス化を進める。
	SDGsへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心にボランティア活動を活性化させ、SDGsについての意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中にSDGsのレポートに取り組み、生徒の100%の提出をめざす。 ・ボランティア活動に全生徒の30%が参加する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに全校生徒がSDGsの課題に取り組み、廊下に掲示した。 ・江戸川土手清掃に全校の約35%にあたる約170名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にはSDGsを行動に移してほしい。ボランティア活動への参加が多いことはたのしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの取組は年間を通して計画的に進めていく。 ・ボランティア活動への生徒の参加をさらに広げたい。
	教員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・Teamsの活用やオンライン授業の方法に関する研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用するための研修会を年に3回以上実施し、授業が分かりやすいという生徒を80%以上とする。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTに関する研修会を6回行い、約90%の生徒が授業が分かりやすいと回答した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用が進んでいるように感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの授業での活用をさらに各教科で計画的に進める。